

発言者	内容
挨拶	
委員長：	全委員の出席が確認できたため、次第に沿って議事を進めていく。
1 武蔵野市下 水道総合計画の 見直しの検討	
市：	『第2回委員会でのご意見とその対応』に沿って説明したのち、本文についてご議論いただきたい。 (資料内各項目の内容について説明)
E委員：	(1) 主要事業計画について P7「処理区と送水先」の図に記載のあるとおり、『多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画』に基づき、野川水再生センターの建設を見込み主要事業計画を立てているが、野川水再生センター建設については、現段階では関係市間で協議中である。また、善福寺川雨水放流幹線についても、河川改修が完了しておらず、確実に事業実施の見込みが立っているわけではないが、いずれの事業も今後の主要事業計画を立てるにあたり、考慮すべき事項と判断し、計画の前提条件としていることはご了承いただきたい。
C委員：	(2) P76 収支計画・総括表について ページ下部の参考値の表 H30 欄を見ると、①-②が約5億円、公債費が約2億円、理論上では差し引き3億円の利益が出るはずだが、基金積立金は6千万円となっている。この部分だけ見ると料金設定が低すぎると判断されるが、この部分の数値も公私で分けると、より正確な数値が出る。
A委員：	料金改定は見込んでいるか。
市：	平成32、36、40年に3.7%、44年に1.6%の料金改定を実施することを見込んでいる。
C委員：	使用料値上げ後、なぜ料金収入が下がるのか。
市：	節水意識の向上等、有収水量の減少を見込んでいるためである。
A委員：	なぜ平成44年の改定率を1.6%としたのか。
市：	前回の使用料見直し検討委員会において、市債を20%に抑制し、将来資金の確

	<p>保として 20 年後に約 3 億円の基金残高となるような条件設定で財政シミュレーションを行い検討がなされたため、その検討内容と整合するためである。</p>
B 委員 :	<p>P76 下の表は、一般的な人が見ただけでは理解できないと思われるため、解説を加える等分かりやすくしてほしい。</p>
A 委員 :	<p>この部分の数値を公私で分け、また分かりやすくする修正を事務局にお願いしたい。</p>
市 :	<p>了解した。</p>
B 委員 :	<p>表を見ると、公費負担である雨水の増加が著しいように感じる。現在の下水道施設が 50mm 対応となっていない中でこのような状況であるが、65mm 対応にしていくためには莫大な費用は必要となるのではないかと感じる。</p>
市 :	<p>下水道施設としてはあくまで 50mm 対応の施設とし、それ以上の部分については貯留浸透施設など他の施設で対応していく予定である。</p>
	<p>(3) その他</p>
B 委員 :	<p>P50 の下水道の広域化・共同化と記載があるが、現在は東京都などと協議がなされているのか。</p>
市 :	<p>今年度より、東京都が中心となり都内市町村で集まり広域化の勉強会が始まった。内容としては、あくまで各市の維持管理の現状や課題など情報共有を行い、理解を深めていくものである。</p>
A 委員 :	<p>P41. 42 の浸透割合について、他の市町村と比較し多いのではないかと感じる。この部分については評価すべきと感じる。</p>
E 委員 :	<p>近年の集中豪雨に対応するため様々な取組みがなされているが、各戸での雨水浸透施設の設置は、事業費の低減や良好な水循環を目指す上で、過大な下水道施設を持つことよりも、合理的かつ非常に重要な取組みだと感じる。</p>
	<p>(4) 感想・意見</p>
E 委員 :	<p>平成 32 年度から公営企業法の適用、平成 31 年度に下水道ストックマネジメント計画の策定と、今後の下水道経営について議会においても非常に注目を集めている。そのような中で、今回の総合計画が大変重要な意味を持つと考える。</p>
D 委員 :	<p>市の財政の切り口から注目していたが、改めて下水道事業が今後の市の財政に</p>

	<p>与える影響の大きさを目の当たりにした。今後は市の財政を俯瞰し、今回策定した下水道総合計画が着実に実行されるよう尽力したい。</p>
B委員：	<p>武蔵野市は下水道普及率が100%であり、使用料のしっかりとしたシミュレーションがなされていることから、値上げについても市民に理解されているように感じる。今後は、集中豪雨が起きる中、いかに雨水を処理していくかが検討すべき大きな課題であると感じた。</p>
C委員：	<p>インフラは生活に非常に密着している一方で、各事業には莫大な費用がかかるものであることから、今後より一層計画的かつ効率的に事業の実施をしていただきたい。</p>
A委員：	<p>先ほど述べたように、浸透施設の多さは改めて評価すべき点だと感じている。こうした点については、積極的に市民にもアピールしていただきたい。</p>
2 事務連絡	
市：	<p>今後のスケジュールについては、平成30年1月23日に市長に答申し、2月6月に武蔵野市議会へ報告、その後パブリックコメント実施し、3月に策定を予定している。</p> <p>議事録は前回同様に、電子メールで送付し、各委員に確認していただく予定である。</p>
各委員：	<p>了解した。</p>